

日本原子力学会 原子力発電部会
次期軽水炉の技術要件検討 WG 第 2 回会合
議事録

日時 : 2018 年 10 月 31 日 (水) 13:00~ 16:00
 場所 : 東京大学工学部 8 号館 2 階 226 大会議室
 出席者 : 山口_{主査}(東大)、山本_{幹事}(名大)、大神_{幹事}(関電)、有田_{幹事}(MHI)、糸井_{委員}(東大)、
 宇井_{委員}(電中研)、浦田_{委員}(NEL)、楠_{委員}(原電)、黒崎_{委員}(阪大)、菅原_{委員}(電中研)、
 高木_{委員}(関電)、藤木_{委員}(東芝 ESS)、宮口_{委員}(MHI)、山崎_{委員}(WH)、山路_{委員}(早大)、
 与能本_{委員}(JAEA)、藤丸_{委員代理}(東電)、今野_{委員代理}(日立 GE)
 オブザーバー: 利根川(エネ庁)、杉谷(MELCO)、竹地、森松(関電)、畔川、大沢(MHI) (敬称略)

配布資料 :

- 資料 2 - 1 : 第 1 回 WG 議事録
- 資料 2 - 2 : 第 2 回~第 4 回 WG での議論の範囲と関連性
- 資料 2 - 3 : 恒設/可搬型 SA 設備の取扱いに係わる協議
- 資料 2 - 4 : 恒設/可搬型 SA 設備の取扱いに係わる協議(添付資料)

議事 :

1. 第 1 回 WG 議事録の確認

第 1 回 WG 議事録(資料 2-1)について幹事より説明あり、事前にメールベースで各委員に確認頂いていたため特にコメント無く了承された。今後、議事録は原子力発電部会のホームページにて公開される予定。

2. 第 2 回 WG~第 4 回 WG の議論の関連性について

第 2 回~第 4 回 WG の議題は相互に関連しており、その全体像を委員の皆様理解頂くため、第 2 回~第 4 回 WG での議論の流れについて幹事から、第 2 回~第 4 回 WG での議論の範囲と関連性について幹事から説明があった。委員との質疑を通じ、第 2 回~第 4 回 WG の流れについて合意を得た。第 2 回~第 4 回 WG の議題は以下の通り。

- ・ 第 2 回 : 新設炉における恒設/可搬型 SA 設備のあり方
- ・ 第 3 回 : 新設炉における APC その他テロ対策(特重施設)のあり方
- ・ 第 4 回 : 新設炉におけるより安全でより合理的な深層防護の実装のあり方

3. 恒設及び可搬型 SA 設備の取扱いに係わる協議

資料 2-3、資料 2-4 を用いて、新設炉における恒設及び可搬型 SA 設備の取扱いに係る考え方について幹事から以下が説明された。

- 新設炉では設計段階からシビアアクシデント設備の系統構成・配置の工夫など柔軟に対応可能であり、恒設/可搬型設備の選択に最適化の余地がある。
- 原子力学会標準委員会の技術レポートにて整理されている恒設 SA 設備と可搬型 SA 設備それぞれの特徴に対して優劣を比較した結果、新設炉における SA 設備の設備構成（恒設/可搬型設備の選択）として、設計上想定される SA 事象に対しては恒設設備により対処することが有利であり、事故シナリオの不確かさへの備えとして、可搬型設備等の整備も必要である。

上記の新設炉における SA 設備の設備構成（恒設/可搬型設備の選択）の考え方については合意を得たが、委員より資料 2-3 の記載の適正化や今後の議論における留意事項に関するコメントがあった。記載の適正化に関するコメントについては資料を修正し、今後の議論における留意事項に関するコメントについては第 4 回 WG で議論することとした。

4. その他

- ・ 次回以降の日程（予定）

#3WG： 2019 年 1 月 28 日（月） 13:30～16:30 @東大工学部 8 号館

#4WG： 2019 年 4 月 24 日（水） 13:30～16:30 @東大工学部 8 号館

以 上